

現在、午後1時25分。快晴。まさに、さわやかな風薫る五月の一日となっています。大型連休が終わりました。いつもと異なり、不思議な感覚の日々だったのではないのでしょうか。

連休中、新聞を読んでいて目に留まった記事がありました。それは、今夏の全国高校総体（インターハイ）の中止を受けたことにする、北京五輪陸上男子400mリレー銀メダルに輝いた末続慎吾選手からのメッセージです。

彼は、メッセージの後半を、以下の言葉で語りかけてくれています。

一番大切なのは、「どれだけ真剣にできたか」ということだと知った。突然、目の前から夢や目標がなくなった時、君は何を思っただろうか？ 真剣であればあったほど、絶望や虚無感を覚えただろう。でも、これだけは言える。それは君が本当に真剣だったからだ。絶望を目の前にした今は、本当は君たちにとって一番大切なことを知る時間でもある。

高校総体は中止でも、それだけで人生は終わらないし、全ての答えになることも絶対はない。今できることを真剣にしていれば、その誠実さを見て、過程を見て、導いてくれる大人は必ずいる。

「真剣さを失うな！」

今、目の前にあることに向き合い、誠実に取り組もう。